

ウメモト インフォメーション

2020 年 5 月 26 日 担当者: 岩崎

4月に史上初めてマイナス価格を記録した米原油先物の期近取引は先週、一時1バレル34ドルを回復した。急速な価格上昇をもたらしたのはサウジアラビアなどの大幅減産が続くと同時に、経済活動の再開で過剰在庫の解消が進むという楽観シナリオにはかならない。だが、安くなったガソリンなどが需要を喚起する市場メ

多面鏡

カニズムさえ依然として機能しない現実がある。

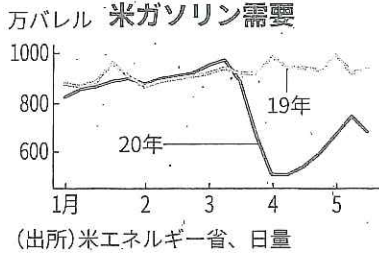
「4～6月はまだ過剰在庫の積み上がり避けられないのに、これほど相場の回復ピッチが早いとは」。

みずほ総合研究所の井上淳主任エコノミストは驚く。「ここ1カ月で原油相場が急変した理由は2つある。ひとつはサウジやアラブ首

原油 楽観論頼みの急反発

長国連邦がロシアなどと合意した日量計970万バレルの減産に加え、独自の追加減産を決定。大幅な減産が夏以降も継続される可能性が出てきたことだ。そこに欧米が経済活動を再開し始め、石油需要が持ち直す兆しも見えた。

国際エネルギー機関（IEA）も5月の月報で今年の需要予測を前年比860万バレル減少と、前月より減少幅を70万バレル小さくした。米



(出所)米エネルギー省、日量

コロナ後の需要不透明

国の貯蔵スペースにも若干余裕が出て、6月物はマイナス価格に陥ることなく32ドルで取引を終えた。「世界で1000万バレルを大きく上回る減産が続く中、経済活動が回復すれば夏場にも風景は一変する、市場はそう考え始めた」（井上氏）

コロナ危機で世界の石油需要が3000万バレル近く落ち込む中でサウジなどが大幅に生産を減らした。協調減産の枠外に出し、原油相場が持ち直す要素が増えたのは間違いない。問題は市場が期待するよくな楽観シナリオ通りに事が進むかどうかだ。商品市場で価格が急変した場合、通常は供給と需要の両面で市場メカニズムが働く。急落した場合は原油生産は減り、同時に、安くな

ある米国では需要の半分をガソリンが占める。その需要は4月上旬には日量510万バレル弱と、前年同期に比べ半減した。いつ900万バレルの通常ペースに戻るかは新型コロナの状況に左右される。経済活動が元の姿に戻る前に感染第2波が広がれば、需要回復の楽観シナリオは崩れる。その場合、安くなったガソリンも、経済対策も石油需要を押し上げることは難しくなる。

世界的に感染が収まっても人の移動がコロナ危機以前の姿になるかどうか不透明だ。「人々が働き方や生活スタイルを変えてしまふ可能性も無視できない」（みずほ総研の井上氏）。コロナ危機を乗り越えた時、世界の石油消費のペースラインがぐっと低くなっていることも予想される。石油市場は中長期のシナリオも書き換えなければならない。

世界最大の石油消費国で

(編集委員 志田宣雄)



ウメモト インフラオメーション



2020年 5月 26日

担当者: 住野

この事態を受け、いち早くロックダウンを緩和した中国の各社が各国にある原料在庫の奪い合いを開始。ヒマシン油も高騰し、セバシン酸市況を押し上げているようだ。足元は5000ポンドの大台をうかがう展開となっている。

初の1ポンド当たり4000ポンド台前半から、足元は5000ポンドをうかがう展開となっている。インドの一部企業が原料生産を再開し始めたようだが、物流などがいせん停滞しており供給緩和には時間がかかると思われる。

セバシン酸は中国の供給が大半を占め、各社とも原料をインドに依存している。年初は米中貿易摩擦などによる実需悪化から4000ポンド台前半に下落したが、新型コロナウイルスの世界的流行で状況は一変。インドでロックダウン(都市封鎖)が始まり、ヒマシン油供給が滞り出した。

中国を除く各国の経済活動停滞の影響で、実需は弱まると予想されている。ただ、インドからの原料供給もしばらく緩和しないとみる向きが多い。同国政府は先月に農業など一部の活動を再開させる方針を示したが、ヒマシン油は人手不足などを背景に物流機能がままならず搾油できない

セバシン酸が反転上昇

セバシン酸の国際市況が反転上昇した。原料であるヒマシン油の供給が、主産地インドで新型コロナウイルスの影響により縮まっている。価格は年

引用記事: 日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報



ウメモト インフラオメーション



2020年 5月 26日 担当者：小松

日本曹達グループの三和倉庫は「このほど、2020年度（30年3月期）までの長期ビジョンを策定した。主軸とする物流事業や危険物、毒劇物、医薬品への特化による収益性・付加価値の向上を図ることなどにより営業利益50%アップを目指す。目標達成へ向けて10年間で総額90億円を投資し、危険物倉庫の新増設や事業所の再編など事業基盤の強化に取り組む。長期ビジョン実現へ向け、飛躍のための第一ステップとして、今期（21年3月期）から3カ年の中期経営計画をスタートした。その第一弾として下

三和倉庫 長期ビジョン策定 営業益50%向上めざす

（東京支所）埼玉県（原市）物、医薬品への特化、保に設定した。に危険物倉庫を新設す 険については日本曹達グループ会社および従業員への 期経営計画では、川崎市 積極的な支援を実施。会 業所（川崎市川崎区）で 社の発展と従業員の幸福 危険物立体自動倉庫、千 持って接するともに、 感が連動できる企業を自 業事業所で定温危険物倉 安全で迅速・正確なサー 指す。 庫を新設したほか、化学

危険物倉庫を新増設

まず千葉、21年3月完成

ピスを提供するためにた 具体的な施策として、 品アドバイザーによる化 効率的な努力を続けること 老朽化した倉庫の建て替 学品共通教育並びに安全 とを経営理念に掲げる。 えの実施および資産の移 教育の実施、日曹グルー 10年後の目指す姿とし 動による事業所の再編を プ各社等への損害保険な て、物流を主軸に危険事 計画。またITを利用し どの取扱などの施策を表 業との協働で業務を展開 た受注業務の合理化も推 施してきた。この結果、 しながら、物流事業では 進する。最終年の目標に 営業収益（売上高）と利益 得意とする危険物、毒劇 ついては営業利益率12% とも当初の目標を達成し

た。また、19年度に計画 した実行計画については 千葉事業所に新設する は、下期からの国内外に おける荷動き悪化や原油 高、人手不足を背景とし た輸送コストの増加など が響き大連に終わった。 長期ビジョンの第一ス テージとなる2022年度 中計では、営業戦略とし て、新設危険物倉庫の早 期フル稼働の実現、危険 物自動ラック倉庫の稼働 率向上、医薬品など高付 加価値貨物の取引拡大に 力を入れる。同時に老朽 化設備の更新工事などの 計画推進、資本金増資更 にもなる会計基準の変 更対応、ITを利用した 受注業務の合理化など経 営基盤の強化を進める。 危険物倉庫は鉄付造り平 屋建てで、延床面積は約 1000平方メートル。完成は 21年3月を予定してい る。これにより既存施設 を含めて保管体制を20% 増強し、旺盛な顧客ニ ーズに対応した物流サービ スを提供していく。 2325年度の第2ステ ージではIT活用による 受注業務の合理化、自動 倉庫の新設増床、医薬品 製品保管受注促進、子会 社集約、2629年度の第 3ステージでは事業所再 編・倉庫新設・集約、医 薬品倉庫増床を計画して いる。

引用記事： 日本経済新聞 ・ 燃料油脂新聞 ・ 化学工業日報



ウメモトインフラオメーション



2020年5月26日

担当者: 山崎

郵船、今期経常益ゼロ

コンテナ船・車運搬船不振

日本郵船は25日、2021年3月期の連結経常損益がゼロ（前期は44億円の黒字）との予想を発表した。新型コロナウイルスの影響によるコンテナ船や自動車運搬船などの需要減をみているものの、同日に電話会見した丸山徹経営委員は「第1四半期後の緩やかな回復をみている」との見解を示した。自動車運搬船の需要やばら積み船の市況回復も見込んでい

「第1四半期後の緩やかな回復をみている」との見解を示した。自動車運搬船の需要やばら積み船の市況回復も見込んでい

る。売上高は14%減の1兆4300億円、営業利益は87%減の50億円とした。「急激な変動に伴う特別な事象の予想が難しい。定期船事業と不定期船事業とい

った海運事業だ。両事業で経常損益を前期比60.5億円押し下げた。4～6月期の自動車運搬船の輸送台数は前年同期比50%減の見込みだ。海運大手3社で出資するコンテナ船事業会社オアシャン・ネットワーク・エクスパレス(ONE)は21年3月期の予想を開示していないが、日本郵船は独自試算で世界全体におけるコンテナ船の年間輸送需要が10%超減少するとみている。

赤字が続いていた航空貨物ビジネスは、医療物資などの輸送需要増による運賃上昇で採算が改善し、黒字に転換すると見込んでいる。

同日発表した20年3月期の連結決算は売上高が9%減の1兆6683億円、最終損益は311億円の黒字（前期は445億円の赤字）で、2期ぶりの黒字を確保した。ONEの採算改善が寄与した。

引用記事

日本経済新聞

燃料油脂新聞

化学工業日報